

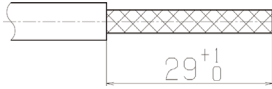
※結線部に強い力が加わるような使い方は避けて下さい。

クランプナットを締め付けた際にケーブルブッシング内径部との密着性を損なわない構造のケーブルを選定して下さい。

## 1. ケーブルの末端処理をする。

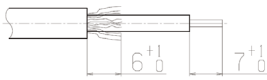
① 図の寸法でケーブルシースをナイフ等、任意の方法で剥く。

注) 編組を傷つけない様にする



② 編組を解きほぐし、図の寸法で切断し、ケーブル絶縁体を図の寸法で剥ぎ取る。

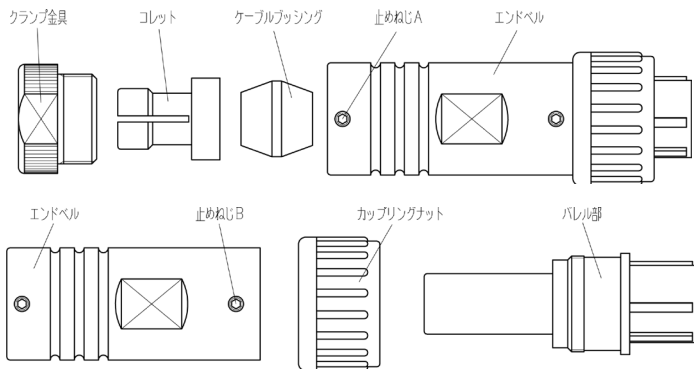
注) ケーブル導体や絶縁体を傷つけない様にする



## 2. 構成図の通りコネクタを分解する。

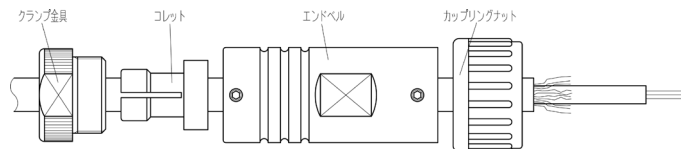
※ このシリーズの止めねじは、六角穴付き止めねじが使用されています。

※ 六角レンチのサイズは 1.27mm です。



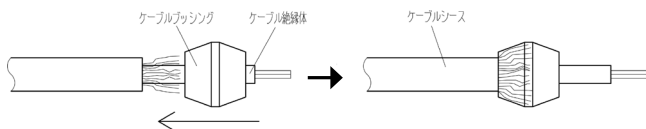
## 3. 分解した各部品を下図の順でケーブルに通す。

注) 各部品の順番、向きを間違えない様にする



## 4. ケーブルブッシングを取り付ける。

ケーブル絶縁体にケーブルブッシングを通し、編組を巻き込まない様に注意しながらケーブルシース部まで押し上げる。



## 5. コンタクトを圧着する。

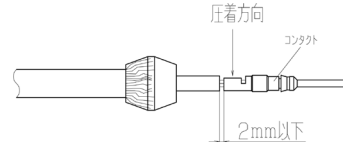
芯線をコンタクトの圧着部の穴の奥まで押し込みながら圧着工具で圧着する。

注) ※圧着工具のダイスの位置は、1.25mm<sup>2</sup>の位置を使用すること。

※芯線の先端がコンタクトの切込みを超えていて、芯線が穴から一本も出ていないこと。

※ JIS C 9711 に規定されている工具を使用し、確実に圧着すること。

※圧着後、コンタクトと電線の隙間が 2mm 以下であること。



## 6. 下記の要領でコネクタを組み立てる。

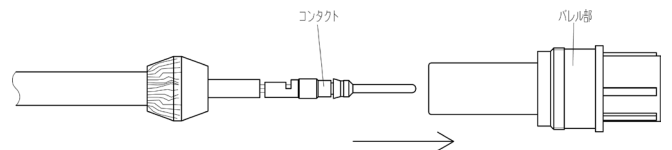
注) ※断線するおそれがありますのでバレル部を回転させて締め付けないこと。締め付けのトルク値は次頁の表を参照。

※ケーブルブッシングをエンドベルに押し込む際は、ケーブルに傷をつけない様に慎重に行うこと。

① 圧着したコンタクトをバレル部の絶縁体に組み込む。

注) ※コンタクトが確実に挿入されると「パチッ」と音がする。

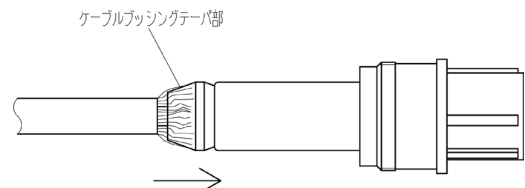
※組み込み後、電線を軽く引っ張り、抜けないか確認すること。



② ケーブルブッシングを絶縁体まで下ろし、編組をケーブルブッシングのテーパ部になでつける。

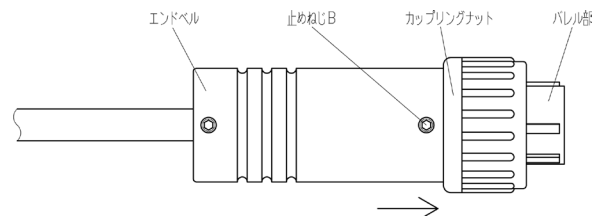
注) ※絶縁体内部に埃や編組の切りくずなどがある場合、確実に除去してからケーブルブッシングを下ろすこと。絶縁物に異物が残っている場合、十分な電気性能が得られない危険性があります。

※ケーブルブッシングのテーパ部からはみ出している編組は切りそろえること。

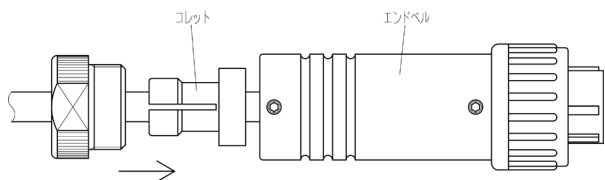


③ バレル部を固定し、カップリングナットを装着した上でエンドベルを締め付ける。

④ 止めねじ B を締め付ける。



- ⑤ コレットをおろし、エンドベルに押し込む。
- ⑥ エンドベルを固定し、クランプ金具を締め付ける。
- ⑦ 止めねじ A を締め付ける。

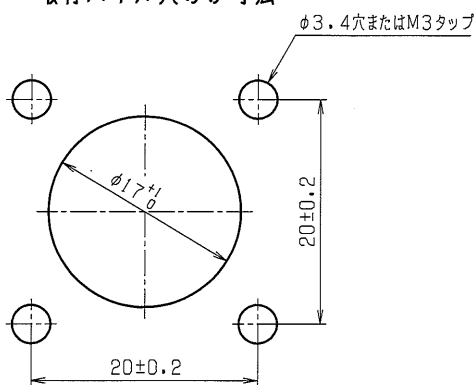


[単位：N・m]

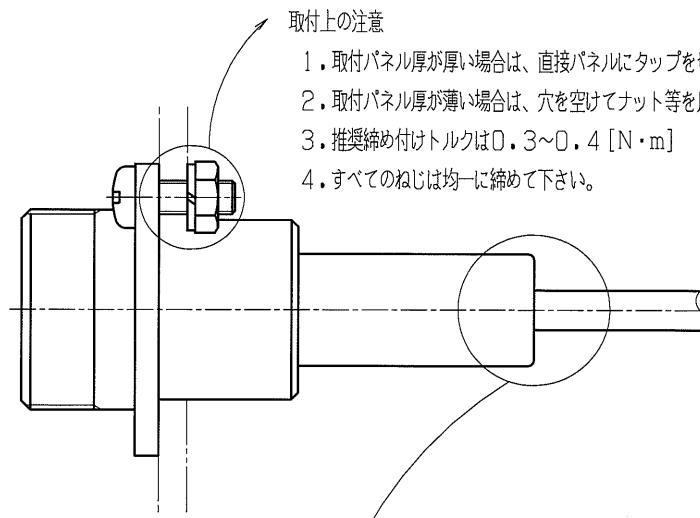
締め付け箇所	シェルサイズ
	16
バレル部-エンドベル	1.5 ~ 2.0
エンドベル-クランプ金具	1.5 ~ 2.0
止めねじ A, B	0.2 ~ 0.25

## レセプタクル取付注意事項 (NHVC-16シリーズ)

### 取付パネル穴あけ寸法



### 取付上の注意



1. 取付パネル厚が厚い場合は、直接パネルにタップを切ってください。
2. 取付パネル厚が薄い場合は、穴を空けてナット等を用いて下さい。
3. 推奨締め付けトルクは0.3~0.4 [N・m]
4. すべてのねじは均一に締めて下さい。

5. コネクタ絶縁体内部に埃等が残らないようにして下さい。
6. 絶縁体に負荷がかからないよう他部品との接触はさけ、十分な空間距離を取って下さい。